

せっしょくえんげ
摂食嚥下外来の
お知らせ



サンピエール病院 耳鼻科外来

近年、社会的にも摂食嚥下^{えんげ}機能障害が注目されています。

摂食＝食べること

嚥下＝飲み込む（食物を口から胃へ送り込む）こと

これらの機能が病気や加齢でうまくいかなることが

せつしょくえんげ

摂食嚥下障害です。

次のような症状がある方は摂食嚥下機能が低下しているかもしれません！

いくつチェックが当てはまりますか？

食事中にむせる・食べこぼす

やせてきた

飲み込みにくい

肺炎や発熱を繰り返している

痰がでる、痰がからむ

のどに異物感がある

食欲がない

食べる時間が長くなった

胸に食べ物が残る感じがある

硬いものが食べにくくなった



実は・・・

1個以上当てはまると摂食嚥下障害の疑いがあります！

自宅で出来る簡単な嚥下機能チェック

RSST(反復唾液嚥下テスト)

口腔内を湿らせてから、人差し指と中指でのどぼとけの上を下図のように指を置き、**30秒間**に何回ゴックン(飲み込み)が出来るか観察する

2回以下の方は嚥下機能が低下している場合があります



当院で出来る嚥下検査

嚥下内視鏡検査(VE)

飲み込む前・後の咽頭の様子を観察する検査



- ・診察室ですぐに行えます
(予約は、いりません)
- ・ベット上でも可能です

検査後、結果に合わせて医師からの説明があります。
また、必要に応じて**言語聴覚士**による嚥下機能の相談や、管理栄養士による食事相談指導を行います。



理学療法士・作業療法士は知ってるけど・・・
言語聴覚士ってどういう職業！？

言語聴覚士とは・・・

病気や事故、発達障害等により、ことばによるコミュニケーション機能に問題がある方、
食べ物を食べる力に問題がある方に対して、「話す」「聞く」「読む」「書く」「食べる」といった分野の援助を行います。

小児から高齢者まで幅広く現れることばによるコミュニケーションや、摂食・嚥下機能の問題を明らかにし、対処法を見出すために検査、評価、訓練、指導、助言、援助を行います。

**嚥下機能の低下が疑われる方・不安な方は
医事課窓口までご相談ください。**